

日本学術会議史学委員会博物館・美術館等の組織運営に関する分科会
(第25期・第5回)
議事要旨

開催日時：令和3年12月7日(火) 13:00～16:00

開催場所：オンライン開催

出席者：池上裕子、小佐野重利、小津稚加子、木俣元一、佐藤宏之、瀬谷愛、芳賀満、橋本佳延、松田陽、渡辺晋輔

欠席者：秋山聰、菊地芳朗、來田享子

配布資料：

- (1) 前回の分科会議事要旨

議事概要：

- (1) 前回議事要旨の確認

前回第4回分科会の議事要旨案が確認、承認された。

- (2) 報告「博物館収蔵品に関する記録管理と近年の来歴研究の興隆」

(参考人、国立西洋美術館 学芸課情報資料室長 川口雅子氏)

報告後、各館が適切な資料台帳を揃えるための方策や、館全体としてレジストラ機能を用意するための施策、収蔵品管理と財産管理との紐付けの必要性について意見交換が行われた。また、大学の学芸員資格取得課程において収蔵品情報の管理を的確に教えていく必要性が指摘された。

- (3) 報告「人と自然の博物館の組織・博物館運営体制について」

(兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 橋本佳延氏)

報告後、人と自然の博物館における中期目標・指標に関する進捗確認の仕組みについて意見交換がなされた。同館の先進的な進捗確認の仕組みや、受託研究を積極的に行っている点は、他館でも参考になる点が確認された。

(4) 上記報告を踏まえて、博物館法の改正、今後の博物館制度のあり方について次回以降の分科会で議論すべきテーマ候補が検討された。本分科会として今期末に何を達成するかを明確にし、そこから逆算してスケジュールを設定する必要性が強調された。

- (5) その他

次回の分科会は、令和4年2月から3月あたりに開催することを確認した。